

熊西校区の元気プラン

住民発！

熊西校区 小地域福祉活動第一次計画



ふれあいネットワーク
熊西校区社会福祉協議会

ごあいさつ

熊西校区では、住民みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくりを目指して、地域住民や公私の社会福祉関係者が協力して地域福祉活動を進めてきました。特に、北九州市で平成5年に開始されたふれあいネットワーク活動にも平成14年より取り組み、「自分たちの地域の福祉課題は、自分たちが解決していく」という目的の下、見守り・助け合い・話し合いの活動を中心に小地域福祉活動を進めてきました。

現在は、全国的に本格的な少子高齢化時代となり、世帯構造についても大きな変換期を迎えています。北九州市においても少子高齢化や、障害を持つ人の増加、孤立死やホームレスの問題など地域の生活課題は一層の多様化を見せており、地域福祉の重要性の高まりが必要とされています。その中で行政と民間団体との役割分担と協働の指針である「北九州市の地域福祉2011－2020」（北九州市地域福祉計画）が行政により策定され、また行政計画と協働しながら北九州市社会福祉協議会が中心となって地域社会の福祉課題を解決するため「住民ふくしの元気プラン2011～2015」（北九州市地域福祉活動第四次計画）が策定されたところです。

熊西校区においても新しい課題が生まれてきており、今後地域福祉活動を進めていくためには、地域福祉を担う各種団体がもう一度地域の福祉課題を共有し、課題解決に向けて話し合い、協働を生み出していく協議の場が求められています。そこで、北九州市の地域福祉計画及び地域福祉活動計画と整合性をもちながら、住民主導により地域福祉活動を進めるため、新しい小地域福祉活動計画を策定しました。

この計画の策定にあたりご尽力いただきました本計画策定委員会委員並びにご意見をお寄せいただきました関係者の皆様に、感謝を申し上げます、ご挨拶といたします。

熊西校区社会福祉協議会
会長 遠藤 一吉



もくじ

ごあいさつ	… 1 p
第1章 計画策定にあたって	… 2 p
1 計画の性格	
2 計画の期間	
3 計画の策定経過	
第2章 熊西校区の現状と課題	… 3 p
1 地域社会の動向	
2 地域の福祉課題	
第3章 計画体系	… 4 p
1 基本理念	
2 基本目標	
3 実施項目（体系図）	
4 重点実施項目	
第4章 計画の推進	… 7 p
1 計画の承認と周知	
2 計画を推進するための体制	
3 第2期計画の策定	
参考資料	… 8 p
1 策定委員会名簿	
2 策定委員会での協議事項	



第1章 計画策定にあたって

1 計画の性格

(1) 住民発信の行動計画

この計画は、熊西校区の様々な福祉課題を解決するために、住民や民間団体が将来の見通しを持って計画的に活動しようとするための民間の行動計画です。

(2) 小地域の生活を支える計画

この計画は、熊西校区に住む人たちの「生活」を支えることを活動の原点とする計画です。

(3) 北九州市及び北九州市社会福祉協議会・八幡西区社会福祉協議会と協働する計画

この計画は、北九州市及び北九州市社会福祉協議会・八幡西区社会福祉協議会の計画と連携しながら地域福祉活動を進めていく計画です。

(4) 熊西校区社会福祉協議会の活動指針となる計画

この計画は、社会福祉協議会が地域福祉推進の中核的な団体としての方針や発展強化の道筋を明らかにする性格を有します。

2 計画の期間

平成 24 年度～平成 28 年度までの 5 ヶ年とします。計画の期間中、地域を取り巻く状況に大きな変化があれば、見直しを行います。

3 計画の策定経過

熊西校区では、地域福祉活動に取り組んでいる関係機関・団体等からの意見を踏まえ、民間の地域福祉に関する計画を策定するため、熊西校区小地域福祉活動計画策定委員会を設置しました。平成 23 年 6 月 24 日に立ち上げた同委員会において、16 名の委員により 9 回に及ぶ協議の上、第 1 次熊西校区小地域福祉活動計画を策定しました。(参考資料を参照)



第2章 熊西校区の現状と課題

1 地域社会の動向

熊西校区データ

平成24年3月現在

人 口	7,061 人	小 学 校	熊西小学校
世 帯 数	3,223 世帯	中 学 校	熊西・引野中学校
高 齢 化 率	18.5%	公 民 館 ・ 市 民 セ ン タ ー	熊西市民センター
独 居 高 齢 者 世 帯	310 世帯	地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー	八幡西3
熊西校区社協の 構成地域	岸の浦二丁目、東曲里町、東王子町、西王子町、南王子町、幸神一丁目、幸神四丁目、小鷺田町、茶売町、青山三丁目		
そ の 他 社 会 資 源 等	八幡西郵便局、八幡西警察署、正和なみき病院、望月胃腸クリニック、グループホーム黒崎、リアリゼ青山、こじか幼稚園、幸神保育園、ダイレックス黒崎店、ハローディ黒崎店、ダイキ黒崎店、たらばる公園、西王子公園、皇后崎公園、南王子公園、小鷺田公園、		

熊西校区は、八幡西区黒崎中心市街地の南西部に位置し、区役所等の公共施設が近く、整備された閑静な住宅地で構成される恵まれた生活環境の地域です。校区内での生活の基本になる学校・医療機関等の社会資源は充実していますが、交通の便は若干の不便さが見受けられます。

最近、校区内を縦断する幹線道路沿いに大型商業施設が開設され、住民の買い物スタイルが大きく変貌してきているところです。一方で先行開発された地域での高齢化が進んできており、安心して生活できる社会の再整備ニーズが、クローズアップされてきている地域です。

2 地域の福祉課題（及び小地域福祉活動の課題）

熊西校区では平成12年よりふれあいネットワーク活動が展開されていますが、核家族化の影響が大きく、また特定地域の高齢化も進行しており、ボランティア等の福祉活動者の確保が困難になり、潜在的な福祉活動者の早急な発掘・育成が求められる状況になっています。効率的な福祉活動を進めていくうえでの課題としては、高齢化の進行によって発生してくる日常生活における困りごとの断片的なニーズは見えてきていますが、総合的なニーズ把握ができていないことです。

これらの問題を解決するためには、地域住民が社協活動に関心を持ってもらうことがポイントであり、これまで実施してきた地域行事の在り方を見直し、地域行事を住民への啓発活動の手段と位置づけ実施します。



第3章 計画体系

1 基本理念「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」

熊西校区では、子どもから高齢者まで、誰もが住み慣れたところで安心して生活できるまちにしたいと願っています。そこで「みんなが支え合うまち熊西」という言葉を計画の基本理念として、計画を推進していきます。

2 基本目標

(1) 福祉を学び、助け合いの意識を高めよう

福祉活動の広報啓発や子どもたちへのかかわりを通じて、地域に福祉の風土を広げます。

(2) 住民同士のつながり（ふれあい・交流）を深めよう

地域交流の場所の設置やイベントを企画して、住民間のつながりを強めてきます。

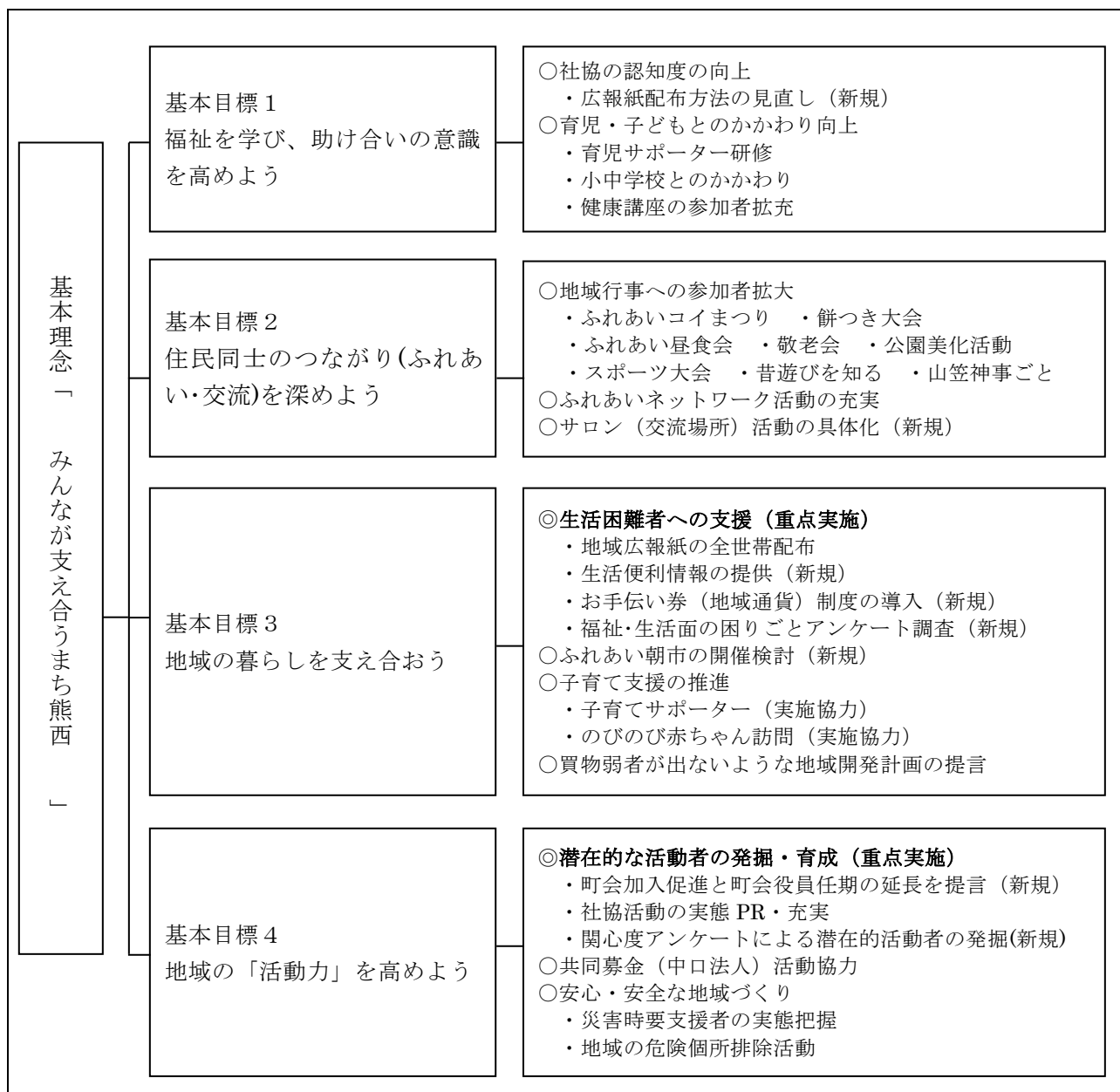
(3) 地域の暮らしを支え合おう

生活困難者のない、安心・安全の助け合いの仕組みづくりを行い、住民同士の助け合いの輪を広げます。











(4) 地域の「活動力」を高めよう

活動者の発掘や育成、活動財源の安定的な確保に向けた活動を通じ、地域の活動力を強化します。











3 実施項目（体系図）



4 重点実施項目

重点実施項目		生活困難者への支援					
1 課題背景及び現状							
熊西校区の住環境は、着々と整備され充実してきているが、古くからの地域では高齢世帯、独居世帯が年々増加している。特に独居高齢者世帯は平成23年度に200世帯を超えているが、見守り安否確認活動以外に有効な支援策がなく、そのニーズの把握も困難な状況である。一方、日常生活に欠かせない商業施設等の一点集中化と、高齢化の進んだ地域でのスーパーの閉店などが同時に進み、生活に不安を抱える世帯が増加してきている。							
2 活動の方針・目標							
校区内世帯に対して、日常生活で困っていること・改善してほしいこと・どんな支援が必要かといった福祉の課題に関する実態調査を実施する。このアンケート調査により、生活上の福祉課題の絞り込みを行い、ニーズに即した生活困難者の日常生活を活性化する活動の一つずつ具体化し、安心して生活できる社会環境の実現を目指す。							
3 段階的な取り組みの年次計画							
取り組み内容	連携する機関	H24	H25	H26	H27	H28	5年後の達成目標
ニーズ内容・量のアンケート調査の実施。	自治区会 民児協	調査 					初年度、重点実施項目の活動の必要性について調査し、実施の是非を検討する。
『お手伝い券制度』の導入検討（ゴミ出し・電球交換などのお手伝いサービス）	自治区会 民児協 ボランティア		導入検討 	試行実施 	実施 		支援の必要な生活困難者50世帯に配布、支援を実施。
ひまわり送迎サービス等の福祉有償送迎サービスの情報提供と、付き添い等の外出支援。	民児協 ボランティア		情報提供 				対象者の状態に合わせ随時実施。
戸配可能な商店や、シルバー人材センターなどの、生活便利情報の収集と提供。	自治区会 民児協		情報収集 	情報提供 			町会入会拡大により、自治会を通じてい広報紙の全世帯配布・情報提供。
広報紙の配布拡大による情報提供体制の強化。（生活困難者への情報提供のための基盤整備）	自治区会 民児協						町会入会拡大により、自治会を通じてい広報紙の全世帯配布・情報提供。
活動点検・評価	自治区会 民児協 ボランティア 地域住民			中間点検 		活動評価 	中間及び最終年度に活動評価を行い、住民・支援対象者の声を次期計画に反映。



重点実施項目		潜在的な活動者の発掘・育成					
1 課題背景及び現状							
<p>校区社協活動は高齢者・障害者・子育て・児童健全育成支援と多岐にわたっているが、活動者や地域住民の関心も高いとは言えず、諸活動に積極的に参加する活動者・住民は既に特定の活動団体に所属しており、固定化傾向が強い。また、活動の中核になる町会も未加入世帯が多く、加入率が7割程度と低い。社協活動基盤の強化を図るため、自治会と連携した加入促進協力と、住民の社協認知度を高めるための広報啓発活動を見直し、潜在的な活動者の発掘と育成を急ぐ必要がある。</p>							
2 活動の方針・目標							
<p>地域の年間福祉活動を、高齢者が参加しやすく、子どもたちが参加したがるよう魅力的な内容に見直し、現役世代も『参加しなければ(参加したくなる)』という風土を醸成する。この活動により、参加者の拡大と活動の楽しさを体験させることで、福祉活動に関心を持つ風土づくりを進め、地域福祉活動希望者が発掘できるような環境をつくる。また、活動基盤となる未加入町会・世帯への町会入会促進活動を自治区会と連携して継続的に促進する。特に集合住宅をターゲットに、加入率の大幅な増加と社協認知度のアップを目指す。</p>							
3 段階的な取り組みの年次計画							
取り組み内容	連携する機関	H24	H25	H26	H27	H28	5年後の達成目標
町内会への加入促進強化による社協活動基盤の強化。	自治区会	促進方法検討 					3年目で80%、5年目で90%の自治会加入率を目指す。
社協認知度及び潜在的活動希望者のアンケート調査。(社協活動の具体例を出して認知度を調査する)	自治区会 民児協 ボランティア	1回 		2回 		3回 	調査において2回目で50%、3回目で70%の認知度を目指す。
社協活動のPR活動の強化。(ユニフォームやのぼり等のグッズを活用)	自治区会 民児協 ボランティア	作成 					地域住民へのPR、活動者の意識高揚・一体感の醸成。
社協行事・地域行事の参加者から、活動者候補を発掘、確保。	自治区会 民児協 ボランティア						年2～3名、5年間で10～15名の新規活動者を確保する。
活動点検・評価	自治区会 民児協 ボランティア 地域住民			中間点検 		活動評価 	中間及び最終年度に活動評価を行い、住民・支援対象者の声を次期計画に反映。



第4章 計画の推進

1 地域への計画の承認と周知

- ① 校区社会福祉協議会総会等を通じた社会福祉協議会活動者への計画の承認と周知
- ② 計画の実施項目を進めていく上での関係機関・団体への周知・協力依頼
- ③ 計画書概要版の配布等を通じた校区住民への周知等、計画を推進していくために、計画の広報活動を行います。

2 計画を推進するための体制

(1) 小地域福祉活動計画推進委員会の設置

熊西校区小地域福祉活動計画推進委員会を設置し、計画の進行管理を行います。

- ① 関係機関・団体との連携
- ② 計画内容の具体的な実施方法
- ③ 進行管理の実施等について、委員会では協議を進めていきます。

(2) 計画の進行管理

熊西校区小地域福祉活動計画推進委員会を年3回程度開催します（当年度の事業推進の確認、年度内における中間確認、次年度の事業確認、また必要に応じて開催）。委員会では、PLAN（計画立案）DO（実行）CHECK（点検・評価）ACT（改善）というPDCAのサイクルを回しながら、計画内の各実施項目の進捗状況を把握し、うまく進行していない場合には、その原因を明らかにし、問題への対策を立て、その対応策を実施します。

(3) 計画の評価

計画期間の中間時点では計画全体の中間見直しを、最終年度には総括評価を行います。

3 第2期計画の策定

第1期計画の推進状況を踏まえて、第2期計画の策定期（計画第4～5カ年度）には新しく第2期計画策定委員会を設置し、計画策定に向けて協議を進めていきます。

熊西校区小地域福祉活動計画推進委員会委員名簿

	氏名	所属団体	役職	備考
1	遠藤 一吉	熊西校区社会福祉協議会	会長	委員長
2	高石 榮	黒崎第11自治区会	区会長	副委員長
3	寺田 きよ	熊西校区社会福祉協議会	会計	委員
4	中禮 弘幸	熊西校区社会福祉協議会	事務局長	事務局
5	鈴木 毅	熊西校区社会福祉協議会	会計監査	委員
6	三木 俊雄	熊西地区民生委員児童委員協議会	会長	委員
7	佃 勝教	熊西地区民生委員児童委員協議会	会計	委員
8	遠藤 由紀恵	食生活推進協議会	ヘルスマイト	委員
9	松尾 和子	熊西地区民生委員児童委員協議会	民生委員	委員
10	小樋 郷子	熊西地区民生委員児童委員協議会	民生委員	委員
11	西川 正治	熊西地区民生委員児童委員協議会	民生委員	委員
12	田中 信一郎	幸神保育園	園長	委員
13	川崎 恵美	熊西地区民生委員児童委員協議会	主任児童委員	委員
14	是井 礼子	熊西地区民生委員児童委員協議会	主任児童委員	委員
15	石川 宏	青山・王子自治区会	会員	委員
16	堀井 幸輝	青山・王子自治区会	会員	委員



参考資料【熊西校区小地域福祉活動計画の策定経過】

1 熊西校区小地域福祉活動計画策定委員会委員名簿

	氏名	所属団体	役職	備考
1	遠藤 一吉	青山・王子自治区会	区会長	委員長
2	高石 榮	黒崎第11自治区会	区会長	委員
3	寺田 きよ	熊西校区社会福祉協議会	会計	委員
4	中禮 弘幸	熊西校区社会福祉協議会	事務局長	事務局
5	服部 芙美雄	東曲里町会	町会長	委員
6	鈴木 毅	青山三丁目町会	会員	委員
7	三木 俊雄	熊西地区民生委員児童委員協議会	会長	委員
8	佃 勝教	熊西地区民生委員児童委員協議会	会計	委員
9	遠藤 由紀恵	食生活推進協議会	ヘルスマイト	委員
10	白石 光子	熊西地区民生委員児童委員協議会	民生委員	委員
11	松尾 和子	熊西地区民生委員児童委員協議会	民生委員	委員
12	小樋 郷子	熊西地区民生委員児童委員協議会	民生委員	委員
13	西川 正治	熊西地区民生委員児童委員協議会	民生委員	委員
14	川崎 恵美	熊西地区民生委員児童委員協議会	主任児童委員	委員
15	是井 礼子	熊西地区民生委員児童委員協議会	主任児童委員	委員
16	堀井 幸輝	青山・王子自治区会	会員	委員

2 熊西校区小地域福祉活動計画策定委員会での協議事項

回	開催日	主な協議事項
1	平成23年 6月24日	1 計画策定の趣旨について 2 策定委員会委員の選任について
2	平成23年 7月29日	1 計画の基本理念について 2 計画体系（基本目標・実施項目）について
3	平成23年 8月26日	1 計画の重点実施項目について 2 計画体系について（見直し）
4	平成23年10月28日	1 計画全体の体系図の作成について
5	平成23年11月25日	1 基本目標の作成と見直しについて
6	平成23年12月16日	1 重点実施項目について 2 実施計画の決定
7	平成24年 1月27日	1 計画の推進について
8	平成24年 2月24日	1 熊西校区の元気プランの書式・記載内容等について 2 推進委員会委員の選任について
9	平成24年 3月23日	1 熊西校区の元気プラン概要版の書式・記載内容等について 2 計画の広報について



★社会福祉協議会のイメージキャラクター★



『プチボザウルス』 (Petit vo saurus)

Petit (プチ：ちっちゃな)

Volunteer (ボランティア)

Saurus (サウルス≡恐竜)

熊西校区社会福祉協議会

〒806-0055 北九州市八幡西区幸神4丁目3番1号熊西市民センター内
TEL 093-621-3182 FAX 093-621-3183

八幡西区社会福祉協議会

〒806-8510 北九州市八幡西区筒井町15番1号八幡西区役所内
TEL/FAX 093-642-5035

北九州市社会福祉協議会

〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町1番6号ウエルとばた内
(代表) TEL 093-871-4401 FAX 093-882-3579
(福祉部) TEL 093-873-1296 FAX 093-873-1351

